

UMIGAME

海にやさしいボールペンづくり

活動の背景と想い

【背景】

現状、海洋プラスチックごみの影響により約半数以上のウミガメが死んでしまっていて、絶滅危惧種となっています。そこで、ウミガメが生きていけるようなきれいな海にしたいと思い、海洋プラスチックから捨てられにくい商品を作る事業を考案しました。

【想い】

私たちの商品の背景を知ってもらい、購入することで少しでも日常的に環境問題について意識を持って生活してほしいという想いがあります。

海洋ごみの現状

- 2050年には、海洋に生息する魚の量を海洋プラスチックごみの量が超えると言われている。
- マイクロプラスチック（大きさ5mm以下のプラスチック）の破片を魚たちが誤飲することで命を落とすことがある。
- マイクロプラスチックの誤飲により、消化されず魚たちの体内に蓄積します。すると魚たちが満腹であると感じるようになって捕食をしなくなり、衰弱していくこともある。
- マイクロプラスチックを含むプランクトンを飲み込んだ魚を人間が食べることで、人間の体内にもプラスチックが蓄積している。

商品説明

- 漁師の方々のいらなくなった漁具などを新しく材料として製作したボールペンです。
- 100%海洋プラスチックを利用した海にも魚たちにも優しい商品です。
- さまざまな色の海洋プラスチックを使用しているため、ひとつひとつ違った、唯一無二のデザインとなっております。



製作過程

收集

粉碎

壓縮

切斷



製作過程

削る

研磨

組立

完成



Q&A

質問	回答
どこのごみを使っているの？	主に鳥羽の漁師さんの使わなくなった漁具を利用しています。海に漂着するプラスチックのおよそ60%は漁具であると言われていています。そこで漁具を有価で回収し再利用をしています。
値段が高いのはなぜ？	海洋プラスチックを商品の一部にだけ使用しているのではなく、100%使用しています。型にはめ込むのではなく、削り出す方式で製作しているため、時間がかかっています。
どの部分が海洋プラスチックなの？	持ち手の部分と上の部分が100%海洋プラスチックとなっています。
柄はどうやってつけてるの？	ランダムです。さまざまな色の海洋プラスチックを使用し圧縮しているため、ひとつひとつ違った表情となっております。
はじめたきっかけは？	メンバーの一人が島出身で、海岸にあるごみを見て問題を感じたことがきっかけです。
ひとつ作るのにかかる時間は？	およそ10時間です。私たちが実際に行った作業は切断からで、部品を削り磨くのに6~7時間、ほかにも切断や組み立てなど丁寧に作業を行っています。
どこで作ったんですか？	REMAREと学校です。鳥羽にあるREMAREさんの工場へ行かせていただき、素材を切断し、残りの工程を学校のゼミ室を借りて製作しました。

使用するにあたって

- 替え芯購入用サイト

<https://woodturning.thebase.in/items/47227208>

- ボールペンの色合いや表情はひとつひとつ異なります。